



はじめに

市立小中学校は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和２・３年度の水泳実技の授業を中止しましたが、令和４年度は３年ぶりに再開し、子どもたちが楽しそうにプールに入って泳ぐ姿を見ることができました。一方、報道によりますと、コロナ禍で水泳実技を一時的に中止したことを契機に、水泳実技やプール施設の廃止に踏み切った自治体もあるようです。しかしながら、本市は水資源が豊富であり、子どもたちが砂沼、鬼怒川、小貝川、用排水路などの水辺に近づく機会が日常的にあることから、学校において水泳実技の授業を行うことは、水難事故を防止する観点からも非常に大切であると考えています。

プール共同利用計画

① 計画策定時の状況

プール共同利用計画を策定した平成30年度には、市立小中学校プールの多くが建設後約50年を経過し、水槽、プールサイド、配管などの老朽化が進んでいました。また、同年度をもって下妻中が利用していた砂沼サンプーチを廃止し、東部中が利用していた旧東部中プールの利用を中止したことから、早急にプールのあり方を検

討する必要が生じました。

②計画の策定

プールのあり方を検討した際に、学校プールは改修に多額の費用を要することや、稼働率が低いことが課題として挙げられました。そこでこれらの課題を解決するため、プールの整備方針を各校それぞれがプールを保有する一校一プールから、複数の学校が共同でプールを利用するプール共同利用に変更することとし、下妻小、大宝小、上妻小、宗道小、千代川中の5校を基幹校(※)、それ以外の7校を利用校(※)と位置付け、全5グループによるプール共同利用計画を平成30年度に策定しました。同時に、基幹校のプール改修と利用校のプール共同利用への移行は、プールの老朽度に応じ、学校ごとに順次実施していくこととしました。

③ プールの改修

プールの共同利用計画に基づき、令和3年度に上妻小プールの改修を終え、令和4年度には下妻小プールの改修も完了します。また、民間活用の検討・協議を行った結果、宗道小を基幹校とするグループは、令和4年度から下妻スポーツクラブのプールを利用できることとなったため、プール共同利用計画の一部を変更し、宗道

小を利用校に位置付けるとともに、宗道小プールの改修計画を凍結しました。これにより、新たな経費として民間プール借上料と送迎バス借上料が必要となりましたが、宗道小プールの改修工事費と維持管理費が不要となったため、今後30年間で約1300万円の経費削減が見込まれることとなりました。大宝小プールと千代川中プールは、現時点で大きな不具合が生じていないため、老朽度を確認しながら改修時期を決定していきます。

おわりに

自校プールを利用する下妻小、大宝小、上妻小、千代川中の4校と、他校や民間のプールを利用している豊加美小、宗道小、大形小、下妻中、東部中の5校は、当面は現状を維持する予定です。また、騰波ノ江小、総上小、高道祖小の3校は、コロナ禍で令和2・3年度と水泳実技を実施しなかった影響もあり、想定以上にプールの老朽化が進んだことから、現在では令和5年度以降の水泳実技の実施方法について、共同利用グループの組み替えも含め、再検討を行っているところだ。

※
基幹校
利用校
自校プールを保有し、必要に応じ改修を行う学校
自校プールを廃止し、自校以外のプールを利用する学校

下妻スポーツクラブ

問 学校教育課 ☎44-0740 FAX 43-9608